

交野のポテンシャルと未来像について



北大阪商工会議所

くもんてつお 久門 哲男 会頭

高速道路で変わる 企業の好循環

第二京阪道路ができるまでの交野は交通の便が悪く、人の体で言えば血液がうまく流れない状態でありました。第二京阪道路の開通は非常にありがたく、人や物の輸送にかかる時間が半分に短縮され、大幅なコスト削減につながっています。

また、利便性の問題で大阪市内に移転を考えていた工場等も、アクセス向上により移転をせずに済んでいます。これからはどんどん企業もこちらへ進出してくるでしょうし、そうなれば働く人も増え、住宅も増えます。地元で働く所ができる、特に子育て世帯の女性は本当に助かるのではないのでしょうか。

会社は、若い方に入ってもらわないと存続はありません。まず設備投資をして、従来の社員がいて、プラス若い方も入ってくるというのが、会社が存続する良いサイクルなのです。

2025年に大阪・関西万博があり、経済規模は2兆円とのこと。この数%の人でも交野に来て経済活動をしてくれれば、交野もかなり活性化するのではないかと思います。

道路整備により、企業の立地が進み、投資が進み、人口が増え、税収も増え、その税収でさらにインフラ整備や住民サービスが向上する。このような好循環で地域が発展していく効果が感じられます。

私たちは、令和3年3月から倉治8丁目で大規模分譲地を販売しています。倉治でこのような事業をさせていただききっかけは、とにかく立地が気に入りました。大阪市内への通勤圏で、ほどよく緑があり、交通のアクセスが非常に便利だからです。

販売コンセプトで100年住んでいただける「ふるさと」になってもらおうと、「100年デザイン特別区」という名前で商標を取っています。ほっとする緑や自然という元々の環境の良さがあるところに第二京阪道路ができて、いろんな所に行くのが便利になりました。交野はこれから価値が上がる地域だと考えています。

実際に住宅をご購入いただいた人の25%が交野や枚方の住民で、75%は他の地域から交野に移り住まれる方です。人口を増やすという意味では、私たちの事業も使命があるのだと感じております。

人生100年時代にマッチできるように、歩車分離や緩やかなカーブで視認性の良さを強化するなどの安全性や、バリアフリーなどを考えたユニバーサルデザインと、災害時に在宅避難ができる「逃げなくてもいい家」というまちを作り、他エリアに誇れるような分譲地にしたいと思っています。

交野という まちの価値



セキスイハイム近畿(株)

すぎえ たかお 杉江 孝夫 常務取締役



浪速国道事務所

くぼ なおや 久保 尚也 所長

道路を作る側から見た 交野市のポテンシャル

交野市は、大阪・京都という大都市の間にあり、地理的なポテンシャルが圧倒的に高い地域だと思います。

道路等のインフラ整備をする目的は、地域の方を支えることほかに、地域の魅力を顕在化することだと思います。交野市であれば、豊かな自然環境の住みよいまちで仕事にも行きやすい。でも、もし道路がなければ住もうとはなかなか思わず人口が減少していきます。人流・物流のインフラを作ることで、その地域が持っている魅力が開花・顕在化していくことが国土交通行政のポイントです。

現在、浪速国道事務所は門真ジャンクションから大阪湾岸道までつなげる淀川左岸線延伸部や、渋滞の多い国道163号のバイパスとして清滝生駒道路などの道路を整備しているところです。他のところでも湾岸線からポートアイランドを通して神戸に入る大阪湾岸道路西伸部や、高槻と大津を結ぶ新名神高速道路が整備中で、これらの道路の完成により関西全体のネットワークが高まり、第二京阪道路の価値も高まります。交野市に何か作らなくても、周りが整備されることでどんどん価値が高まっていくという地域ですので、このチャンスを生かしていただきたいというのが率直な思いです。

これから、土地区画整理や都市基盤整備がされていきますが、「ラストワンマイル」といって、高速道路に乗りやすくしていくことも、地域発展の一つの方策だと思います。われわれもみなさんと共に知恵を出していきたいと思っています。

藤井先生やパネリストのみなさんのお話を聞かせていただき、人流・物流はまちの活力・エネルギーに大きくかかわることを強く感じました。

星田北エリアでは、物流センターが2つ完成し、将来的には物流センター1棟で1,000人規模の雇用が見込まれています。市の税収も固定資産税だけで10年間で40～50億くらいが見込め、これらは市民のみなさんの暮らしに還元できる財源となります。

企業が投資し、その投資をまちが受けとめ、それをしっかりと市民に還元する。その基盤整備こそが行政の役割であります。インフラに公的資金を投入し、民間企業が元気に活動でき、住民誘致がしっかりできる。そして安全安心に暮らせるまちをつくること、これからの行政であるという強いメッセージをいただいたと思っています。

今後、淀川左岸線延伸等でも得られる第二京阪道路の恩恵をしっかりと受け止め、市民のみなさんに還元し、ともにこのまちを盛り上げていきたいと思っています。

行政の役割 これからの



交野市

くろだ みのる 黒田 実 市長

フォーラムの様子は、50周年特設ページで動画を公開していますので、ぜひご覧ください。

